

b 個人カードと生徒理解

事前調査やよさのアンケート結果などを整理し、効果的に指導援助を行うための個々に対する指導方針を検討した。

ア 個人カード作成の意義

性格行動面や特別活動など、既存の目的別個人資料を、「開発的な指導援助」のための資料に整理し、新たな資料収集により、その補充に努めた。

記入項目は固定したが、内容は自由にいつでも追記できるようにしたり、指導援助の方針を個別に記入できるようにした。また、個人カードの作成過程では、担任が、常に多面的・客観的に生徒を見るという基本的な姿勢を維持することができるという効果も確認することができた。

イ 個人カードの記入例

表Ⅲ-3は、事前調査で下位群に属していたR子の個人カードである。アンケート実施直後に記入したものであるが、概要が分かる程度に内容を抜粋してある。

また、事後調査の結果は、事例を紹介するにあたって、指導後に書き入れたものである。

c 個別教育相談の実施

学級の全員に対して、個に応じた意図的な言葉かけとともに、個別の教育相談を実施した。

R子に対しても、「グループ学習でのポイントを押えた発言、〇〇先生が感心してたよ。」「持ってきてくれた鉢花のおかげで理科室が明るくなったよ、ありがとう。」などの言葉を掛けた。

10月上旬、R子の教育相談が行われた。R子は、緊張した面持ちで理科準備室に入ってきた。「アンケート結果すごいね。みんなからの認めは学級でも多い方だよ。本当にすごいね。」

「えっ！本当ですか？」R子は、今までの自分は、みんなから嫌われていると思っていたことや、暗い性格で悩んでいたことなどを話しながらも、明るい表情であった。「卒業したら、〇〇女子高に入学したいなあ。」R子は、初めて進路について話してくれた。

「すごいね。今からちゃんと自分の進路希望を持っているんだね。すばらしいことだよ。」

R子の自信のない言動には、できるだけ肯定的な解釈を返すように努めた。

表Ⅲ-3 個人カード

番号	2434	氏名	〇〇R子	性別	女	備考
日常	学習態度は真剣でまじめに取り組んでいる。(7/18)					
テスト	成績順位=女子で10番(1学期中間)					
学力検査	5教科平均学力偏差値58(理数系がやや低い。)					
性格行動	静かでやさしい。甘えたところあり。(7/18) 身体面の違和感、不安全感、情緒面の不安傾向が強い。親子間の意志疎通に問題。どんなものでも自信の持てるものを見つけてやる必要性を感じる。(8/22)					
ソシオ	友達はまだ多い方ではない。(選択4、被選択3、相互選択1、排斥4、被排斥1、相互排斥0)(5/14)					
日常友達の良き	総合得点は予想以上に高くベスト10に選択されている。清掃態度、言葉遣い、規則の遵守ではベスト10。(6月)明るい雰囲気、落ち着いた行動のみが、下位から10位以内					
遅刻早退欠席	問題にする事項は見当たらない。					
学級生徒会クラブ部	前期後期とも学芸部で数学の係を担当、連絡などを行う。 茶道部に所属する。					
開発的指導援助問題にしたい事項	他の生徒からどのような評価を受けているかを気にする。 学習面ではコツコツと努力するため上位にいますが、生活面では自信のない態度が目立ち、自己イメージは悪いようだ。 ↓ 日常の言葉かけ、よさのアンケートをもとにした教育相談、係活動に対する援助による自信の回復(9/25)					

—事前調査

—事後調査

「よさのアンケート結果」	
総合	110
登校時刻	31
清掃態度	13
やさしさ	11
言葉遣い	14
規則遵守	11
教科授業	17
明るい	0
陰口	1
落ち着き	3
責任感	9

※ 実際のカードは余白が多く自由に記入できるものであるが、抜粋して紹介した。事後調査結果は、後で追記した。